

ものづくり 企業紹介

株式会社ファームスズキ

欧米式養殖スタイルの生牡蠣で新たな価値を生み出す

代表取締役
鈴木 隆 氏



養殖事業を始めるきっかけ

当社は、私が兼務するケーエス商会(株)の大崎上島養殖場で生産された生食用牡蠣・車海老の販売と、その食材を使ったレストラン(ファーマーズキッチン)を運営しています。

近年、養殖した商品の需要が増えてきた事により、養殖部門独立化を目指して平成27年8月に当社((株)ファームスズキ)を設立しました。私は水産大学校を卒業しており、その頃から養殖事業をやりたいと思っていましたが、20代のうちは経験を積み、視

野を広げるために東京の水産物卸売会社で働いていました。この会社では海外から冷凍海老を輸入し日本で販売する仕事をしていましたが、次第に日本で付加価値の高い水産物を作り、海外に売る仕事をしてみたいと思い、養殖事業を始めました。

牡蠣をカゴに入れ養殖する欧米式のスタイル

当初、どの水産物を作ろうかと考えた時に、牡蠣は世界中にオイスターバーがあり、世界で通用する。牡蠣の

中でも、冷凍の牡蠣はミドルマーケットですが、生きた生食用牡蠣は高級レストランやホテル等に販売できるハイクラスマーケットで取り扱われます。そこを狙ってみたいと思い、色々と研究し、牡蠣をカゴに入れ養殖する欧米式の養殖スタイルに行き着きました。

日本では、牡蠣は主にむき身で流通し、且つ、火を通して食べる文化のため、むき身用牡蠣の量産に効率の良い筏養殖が主流で、欧米式の養殖スタイルは一般的ではありません。

新しいことに取り組もうと思えば、時間・お金・エネルギーが必要です。種苗生産の設備等に必要な投資は、ものづくり補助金等を活用して少しずつ整え、理想の姿に近づけてきました。

開始後5年間は、この養殖方法と、気候や池の環境とをマッチさせることが難しく、計画通りには作れませんでした。やっと計画通りに作れるようになったのは6年目以降です。一から自分たちで設計・開発し、軌道に乗せるのは非常に大変ですが、できた時にはとても強い会社になれると思っています。又、幸いたのは人があまりやっていない養殖方法である為、メディアが取り上げてくれ、そのおかげでエンドユーザーに知ら



■ 当会が地域事務局を担っているものづくり補助金に採択された会員組合員企業の経営トップの経営方針や未来への想いなどを紹介しております。
■ 当コーナーが企業間連携や異業種交流へと繋がることを期待します。



れ、販売に繋がりました。

生産・加工・販売までを行う6次産業化への取り組み

6次産業化は、もともと養殖事業を行う上で目指していた形でした。自ら種苗を作り、その種苗を池で育てて、育てた商品を自社で販売していく。そのためにレストランを建てるとともに、オンラインストアを開発するなど、BtoCで販売できる仕組みを作りました。限られた土地で養殖していく為、収穫の最大数量も限られてきます。6次産業化し、市場へ出荷するだけでなく、個人のファンの方にもちゃんとした商品を提供していくことで、高付加価値化を維持でき、結果として経営の安定にも繋がると考えています。

しかし、一方で生食用牡蠣の出荷時期は11月～3月迄と期間が限られている為、一年を通して安定した出荷ができず、夏期の売上げが落ちてしまう。冷凍での出荷も可能ですが、品質が落ちてしまう為それはやりたくはない。このため現在特殊な凍結技術を試験中で、実現できれば味を落とさずに通年販売も可能となります。



また、地下海水を利用した製塩事業にも取り組む予定で高品質の食塩を製造して本格的な食塩を求めている方が満足するような製品をつくっていきたくと思っています。そうすることで夏場の売上を確保し、年間を通して安定した収入を確保していきたいと考えています。

地域資源を活用し、大崎上島を元気に～これぞ地方創生～

この仕事を新たな地場産業として定着させ、地域に雇用を生み、会社も自立させ、しっかり法人税を納めたい。また、十分に発揮されていない島のポテンシャルを活かして、大崎上島を元気にする原動力となるような

役割を担っていくことが社会貢献だと最近強く感じています。

当社が養殖事業を中心に事業を成り立たせ、法人としても今後もっと大きくする。島にこられた方が当社のレストランや、観光地等を巡る仕組みができれば、大崎上島に大きな経済効果が生まれると考えています。

当社だけではなく、島内の様々な分野の事業者の方も巻き込んで島全体が活性化していければと考えていますし、今では他の事業者の方も、少しずつこうした取り組みを始めています。今はみんなが、上を向いてがんばっていますので、大崎上島の将来は明るいと思います。

(取材:連携支援部 相良知範)



株式会社 ファームスズキ

広島県豊田郡大崎上島町東野垂水37-2
TEL: 0846-65-3911
FAX: 0846-65-3912
URL: <https://www.farmsuzuki.jp/>

